

適切な感染防止対策

目的	具体的な取組例
発熱者等の施設への入場防止	従業員及び来訪者の検温・体調確認を行い、37.5度以上や体調不良の者の入場等を制限
3つの「密」（密閉・密集・密接）の防止	利用者の入場制限、行列を作らない工夫や列間隔の確保（約2m間隔の確保）
	換気を行う（可能であれば2つの方向の窓を同時に開ける）
	密集する会議の中止（電話会議やビデオ会議を利用）
飛沫感染、接触感染の防止	従業員及び来訪者の手指消毒、咳エチケット、手洗いの励行等
	店舗・事務所内の定期的な消毒
移動時における感染の防止	ラッシュ対策（時差出勤、自家用車・自転車・徒歩等による出勤の推進）
	従業員数の出勤数制限（テレワーク等による在宅勤務等）
	出張の中止（電話会議やビデオ会議などを活用）、来訪者数の制限